

「呉市海事歴史科学館(大和ミュージアム)」に「日精丸(につせいまる)」の模型を寄贈  
～呉で建造された世界最大のタンカー模型を展示～

記者各位

当社(社長:渡 文明)グループの輸送部門である新日本石油タンカー株式会社(社長:神田 康孝)は、2005年4月23日にオープンします「呉市海事歴史科学館(大和ミュージアム)」(広島県呉市)に超大型タンカー「日精丸」の模型を寄贈することといたしましたので、お知らせいたします。

「呉市海事歴史科学館(大和ミュージアム)」は、呉市が市制100周年を記念し、明治以降の日本の近代化の歴史そのものである「呉の歴史」と、その近代化の礎となった造船、製鋼を始めとした各種の「科学技術」を紹介するために建設されたものです。今般、呉市からの呼びかけに対し、当社グループの世界最大のタンカー「日精丸」の模型を寄贈し、展示されることとなりました。

「日精丸」は、1974年12月に呉にて建造され進水、翌年6月に呉の港を出航して以来25年間、ペルシャ湾と喜入基地(鹿児島県にある世界最大級の石油備蓄基地)との間を128往復、航走距離180万マイル、8億4000万キロリットルの原油(日本での約3年半分の使用量)を無事故・無災害で輸送してまいりました。その間、イラン・イラク戦争が勃発した1980年から4年間、石油公団の洋上備蓄船として従事し、その後、戦時下のペルシャ湾へ向かい、危険海域での航海を途絶えることなく続けました。1989年には遭難したベトナム難民35人を救助し、その勇気ある行動に対し政府はじめ各方面から表彰を受けました。

このたびの寄贈により、同船のこのような偉大な業績を広く記憶にとどめ、その名が残ることを期待しております。

尚、同科学館での出展内容は下記のとおりです。

記

1. 「呉市海事歴史科学館(大和ミュージアム)」住所: 広島県呉市宝町5-20
2. 出展物:
  - ・「日精丸」1/100サイズ模型
  - ※ 本船のサイズは48万重量トン(全長:378.85m、幅:62m)
  - ・陸揚げ品(各種表彰状、SHIP BELL、船内用社章入り食器など)
3. 出展コーナー: 「現在の呉」コーナー

以上



「呉市海事歴史科学館(大和ミュージアム)」に展示される「日精丸」の模型



航海する当時の「日精丸」本船